

保 健

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年 (調査冊数)
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	保健 3 0 6 5 0 6	A 4 124	令和 5 年 (12冊)
4	大日本図書	大日本◆	保健 3 0 7 5 0 7	A 4 116	
50	大修館書店	大修館◆	保健 3 0 8 5 0 8	A 4 変型 124	
207	文教社	文教社◆	保健 3 0 9 5 0 9	A 4 122	
208	光文書院	光 文◆	保健 3 1 0 5 1 0	A 4 108	
224	Gakken	学 研◆	保健 3 1 1 5 1 1	A 4 140	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

校 種		聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校
児童の実態		・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。 ・慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。
観点	1 障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について	①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの ②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの	①健康な生活や病気の予防、けがの手当て等が取り上げられているもの
	2 障害への配慮を要する内容等について	①言葉や音を聞き取る活動等があり、学習活動に困難が想定されるもの	①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他	①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの	①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの ②写真、図表等で視覚的に示されているもの

小学部 保健(聴覚障害特別支援学校)

発行者		東 書	大日本	大修館
内	「健康な生活」 ページ数	20	16	16
	「体の発育・発達」 ページ数	17	18	20
	「心の健康」 ページ数	16	12	16
	「けがの防止」 ページ数	24	20	22
	「病気の予防」 ページ数	34	26	28
	運動と健康の関わりについて、取り上げている箇所数	16	18	21
	体の発育・発達に関する個人差を肯定的に受け止めることについて、取り上げている箇所数	8	10	11
	不安や悩みへの対処の方法を身につけることについて、取り上げている箇所数	13	10	9
	危険の予測や回避の方法を考えることについて、取り上げている箇所数	29	30	27
	病気の予防に関する解決策を考えることについて、取り上げている箇所数	21	24	24
	発展的な内容を取り上げている箇所数	22	25	34
容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの ②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの	11箇所 ①3・4年「体のせいけつとけんこう」では、下着や靴下の汚れを写真で示し、毎日取り換える理由を考える活動があり、視覚的な方法を活用した学習ができる。(P19) ②5・6年「地域の保健活動」では、聞こえが不自由なことを表す「耳マーク」と文字での会話を必要とすることを表す「筆談マーク」が示してある。(P77)	8箇所 ①5・6年「交通事故の防止」では、自動車の内輪差や死角を示すイラストを見て交通事故を防ぐための工夫を考える活動があり、視覚的な方法を活用した学習ができる。(P26) ②なし	12箇所 ①5・6年「事故やけがの起こり方」では、学校や地域の様子を表す絵を見て、危険を予測する活動があり、視覚的な方法を活用した学習ができる。(P24-25) ②3・4年「よりくらしやすい社会を目指して」では、聞こえが不自由なことを表す「耳マーク」が示してある。(P48)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動等があり、学習活動に困難が想定されるもの	10箇所 ①5・6年「さまざまな自然災害」では、自然災害が起こった際の情報の入手方法としてラジオを示してあり、取り扱う際に配慮が必要である。(P28)	7箇所 ①5・6年「けがの防止」では、緊急時の連絡方法として公衆電話の使い方を示してあり、取り扱う際に配慮が必要である。(P38)	11箇所 ①3・4年「よりよい成長のために」では、音楽に合わせて踊るダンスが示してあり、取り扱う際に配慮が必要である。(P42)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	3・4年 14ポイント 5・6年 12ポイント	3・4年 15ポイント 5・6年 15ポイント	3・4年 14ポイント 5・6年 14ポイント
	欄外の文字の大きさ	8.5ポイント	9ポイント	8.5ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの	①3・4年「けんこうによいかんきょう」では、窓や戸を開けることで換気ができる様子を写真で視覚的に説明してある。(P22)	①3・4年「1日の生活のしかた」では、生活リズムが整っている時と崩れている時の違いを、絵や図で視覚的に説明してある。(P14-15)	①5・6年「学校や地域でのけがの防止」では、学校や地域における危険を防ぐための環境作りを、写真で視覚的に説明してある。(P33)
参考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	障害者理解に関する扱い	あり	あり	あり
	固定的な性別役割分担意識に関する扱い	なし	なし	なし

小学部 保健(聴覚障害特別支援学校)

発行者		文教社	光文	学研
内	「健康な生活」 ページ数	18	16	20
	「体の発育・発達」 ページ数	18	18	20
	「心の健康」 ページ数	18	14	18
	「けがの防止」 ページ数	26	18	24
	「病気の予防」 ページ数	36	26	36
	運動と健康の関わりについて、取り上げている箇所数	16	24	20
	体の発育・発達に関する個人差を肯定的に受け止めることについて、取り上げている箇所数	7	9	9
	不安や悩みへの対処の方法を身につけることについて、取り上げている箇所数	13	11	16
	危険の予測や回避の方法を考えることについて、取り上げている箇所数	25	27	22
	病気の予防に関する解決策を考えることについて、取り上げている箇所数	20	22	23
	発展的な内容を取り上げている箇所数	26	27	28
	容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの ②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの	9箇所 ①3・4年「けんこうによい生活かんきょう」では、教室のイラストを見て、健康によい生活環境について考える活動があり、視覚的な方法を活用した学習ができる。(P15) ②なし	10箇所 ①5・6年「自然災害から身を守る」では、イラストを見て、地震発生時にどのような危険が生じるかを考える活動があり、視覚的な方法を活用した学習ができる。(P36) ②なし
聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動等があり、学習活動に困難が想定されるもの		7箇所 ①5・6年「けがの手当て」では、救急の際、119番に通報することを示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P39)	12箇所 ①5・6年「けがの手当て」では、119番に通報する際の台詞を示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P32)	8箇所 ①5・6年「けがの防止」では、AEDを使用する際に音声による指示を聞くことが示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P47)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	3・4年 13ポイント 5・6年 13ポイント	3・4年 13ポイント 5・6年 12ポイント	3・4年16ポイント 5・6年14ポイント
	欄外の文字の大きさ	9ポイント	8ポイント	7.5ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの	①5・6年「災害が起きたら、あなたはどうしますか？」では、自助、共助、公助の関係性を、写真等で視覚的に説明してある。(P42-43)	①5・6年「喫煙の害」では、喫煙が体に及ぼす影響について、写真やイラストで視覚的に説明してある。(P54-55)	①3・4年「身の回りのかんきょう」では、タブレット使用時の注意点について、イラストで視覚的に説明してある。(P24)
参考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	障害者理解に関する扱い	あり	あり	あり
	固定的な性別役割分担意識に関する扱い	なし	なし	なし

小学部 保健(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者		東 書	大日本	大修館
内 容	「健康な生活」 ページ数	20	16	16
	「体の発育・発達」 ページ数	17	18	20
	「心の健康」 ページ数	16	12	16
	「けがの防止」 ページ数	24	20	22
	「病気の予防」 ページ数	34	26	28
	運動と健康の関わりについて、取り上げている箇所数	16	18	21
	体の発育・発達に関する個人差を肯定的に受け止めることについて、取り上げている箇所数	8	10	11
	不安や悩みへの対処の方法を身につけることについて、取り上げている箇所数	13	10	9
	危険の予測や回避の方法を考えることについて、取り上げている箇所数	29	30	27
	病気の予防に関する解決策を考えることについて、取り上げている箇所数	21	24	24
	発展的な内容を取り上げている箇所数	22	25	34
容 容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①健康な生活や病気の予防、けがの手当て等が取り上げられているもの	22箇所 ①3・4年「けんこうというたからもの」では、1日の生活の中で健康に生活するためのポイントが示してある。(P11)	20箇所 ①3・4年「1日の生活のしかた」では、生活のしかたを振り返り、生活リズムを整える大切さについて考える活動が示してある。(P15)	18箇所 ①5・6年「感染症の予防」では、感染症予防のための具体例がイラストとともに示してある。(P50)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの	3箇所 ①5・6年「犯罪被害の防止」では、地域を点検して安全マップを作成する活動があり、運動や上肢の操作を伴うため、配慮が必要である。(P35)	4箇所 ①5・6年「不安やなやみがあるとき」では、体ほぐしの運動や呼吸法の実習があり、上肢の操作を伴うため、配慮が必要である。(P18)	4箇所 ①3・4年「育ちゆく体の変化」では、身長の変化をグラフに記入する活動があり、上肢の操作を伴うため、配慮が必要である。(P27)
構 成 上 の 工 夫	本文の文字の大きさ	3・4年 14ポイント 5・6年 12ポイント	3・4年 15ポイント 5・6年 15ポイント	3・4年 14ポイント 5・6年 14ポイント
	欄外の文字の大きさ	8.5ポイント	9ポイント	8.5ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの ②写真、図表等で視覚的に示されているもの	①3・4年「よりよく成長するための生活」では、学習の課題を色付きの枠囲みで示してある。(P40-41) ②5・6年「自然災害によるけがの防止」では、災害や避難の様子が写真やイラストで視覚的に示してある。(P36-37)	①5・6年「病気の予防」では、学習する内容が大きな枠囲みと吹き出しで示してある。(P40) ②5・6年「心の発達」では、心のはたらきに関する具体例をイラストで示してある。(P11)	①各単元の冒頭に、学習の課題を枠囲みで示し、本文中のキーワードはフォントを変えて、太字で示してある。(3・4年P20-21など) ②5・6年「けがの手当」では、熱中症の予防と手当てや、倒れている人への応急手当てについて、写真やイラストで視覚的に示してある。(P40-41)
参 考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	障害者理解に関する扱い	あり	あり	あり
	固定的な性別役割分担意識に関する扱い	なし	なし	なし

小学部 保健(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者		文教社	光文	学研
内	「健康な生活」 ページ数	18	16	20
	「体の発育・発達」 ページ数	18	18	20
	「心の健康」 ページ数	18	14	18
	「けがの防止」 ページ数	26	18	24
	「病気の予防」 ページ数	36	26	36
	運動と健康の関わりについて、取り上げている箇所数	16	24	20
	体の発育・発達に関する個人差を肯定的に受け止めることについて、取り上げている箇所数	7	9	9
	不安や悩みへの対処の方法を身につけることについて、取り上げている箇所数	13	11	16
	危険の予測や回避の方法を考えることについて、取り上げている箇所数	25	27	22
	病気の予防に関する解決策を考えることについて、取り上げている箇所数	20	22	23
容	発展的な内容を取り上げている箇所数	26	27	28
	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①健康な生活や病気の予防、けがの手当て等が取り上げられているもの	21箇所 ①3・4年「けんごうな生活とわたし」では、健康に生活するために、自分の心と体の調子を調べる活動が示してある。(P4)	16箇所 ①5・6年「感染症の予防」では、病原体がどのようにして体に入るのか、イラストや写真を見て考える活動が示してある。(P42)	18箇所 ①5・6年「けがの手当て」では、けがの種類ごとに、手当ての方法がまとめてあり、ポイントを見ながら実習をする活動が示してある。(P42)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの	2箇所 ①5・6年「不安やなやみへの対処②」では、複数人で行う体ほぐしの運動があり、上肢の操作を伴うため配慮が必要である。(P16)	1箇所 ①3・4年「変化していくわたしの体」では、グラフに色を塗る活動があり、上肢の操作を伴うため配慮が必要である。(P25)	2箇所 ①3・4年「よりよい発育・発達のために」では、入学してからの身長伸びについて、紙テープを切って台紙に貼る活動があり、上肢の操作を伴うため配慮が必要である。(P44)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	3・4年 13ポイント 5・6年 13ポイント	3・4年 13ポイント 5・6年 12ポイント	3・4年16ポイント 5・6年14ポイント
	欄外の文字の大きさ	9ポイント	8ポイント	7.5ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの ②写真、図表等で視覚的に示されているもの	①各単元の最後に、学習のまとめを色付きの線で囲んで示し、文中のキーワードはフォントを変え、太字で示してある。(3・4年P18など) ②5・6年「地域での安全」では、地域での事故を防止する方法について、写真やイラストで視覚的に示してある。(P34-35)	①各単元の本文中でポイントとなるキーワードはフォントを変え、太字で示してある。(3・4年P11など) ②3・4年「思春期の体の変化②」では、女子と男子の体に起こる変化について、見開きページにイラストや図を用いて示してある。(P30-31)	①3・4年「かけがえのない健康」では、学習の課題を色付きの枠囲みで示してある。(P8) ②各単元の冒頭ページは、ページ全体に大きな写真やイラストを示してある。(5・6年P50など)
参考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	障害者理解に関する扱い	あり	あり	あり
	固定的な性別役割分担意識に関する扱い	なし	なし	なし

